

議会運営委員会 研修報告

平成26年11月18日～20日

今回視察を行った鳥羽市、高浜市では、予算決算審査、議会改革等について研修した。鳥羽市では、予算決算常任委員会を設置し、当初予算・決算に加え補正予算についても同委員会で審査していた。

議会改革については、両議会も時代の流れを察知して従来の議会運営からの脱却を目指した結果、議会基本条例制定、自由討議、通年議会、反問権、議会報告会、ITを使った情報発信などを行っている。

またそのきっかけとしては、市民からの声というよりも、むしろ、議会自らが変わらないといけないという使命感を持ち、リーダー的議員（あるいは職員）の奮闘、社会を取り巻く技術革新等の環

境要件が挙げられる。

視察市では、例えば議会基本条例などで議会の「施策」をきちんと明確化し位置づけているため、市民に対しても説明しやすくなっているという一面もあるのではと思う。これまで以上に、市政をしつかり理解して、きちんとチェックし、議会

としての役割を果たしていく必要がある。

そのためには、現状に満足することなく、常に問題意識を持ちながら、筑後市の特性に合った適正な議会運営とはいかにあるべきかを議論し、時代に即した結論を出す必要があると改めて感じた。



研修風景(三重県鳥羽市)

三重県鳥羽市	人口20,528人
愛知県高浜市	人口46,301人

傍聴席の声



◆ 一般質問の時、執行部側は毎回登壇による答弁だが、自席での答弁でスムーズに進行できそうな気がする。マイクの都合

◆ インターネット中継の画面が暗くて見づらい。発言者の表示がないので誰が発言しているのか判りづらい。(メールでの意見)

◆ もあるかと思うが考えてみてはどうか。(40代男性)
◆ 一般質問の時に分かりやすい答弁があった。傍聴していて良かった。もう少し介護予防に対する考えを聞きたかった。
◆ 全体的に質問、答弁ともにおとなしくもう少し活発な議論があればと思った。(60代女性)

今回も、多くの市民のみなさんに傍聴いただき、ありがとうございました。また、貴重なご意見ありがとうございました。今後の議会運営に参考にさせていただきます。次回も多くの方の傍聴をお待ちしています。